

[概要]

RICOH fiシリーズからデータ(用紙)を取り込む処理を対象にしたアプリケーションです。 スキャナから取り込むデータの指定位置にバーコード(1次元・2次元)のイメージを合成(貼り付け)します。 バーコードの他にテキストイメージ、ビットマップの貼り付けをおこなうことがきます。



[合成が可能なバーコードの種類]

名称	内容
QR	QRコード(2次元)。型番は任意。
JAN13 , EAN13	JANおよびEANコードのうち、13桁のもの。
JAN8, EAN8	JANおよびEANコードのうち、8桁のもの。
ITF	ITF。桁数は任意。
N₩-7	NW-7。桁数は任意。
CODE39	Code39。桁数は任意。
CODE128	すべてのCode128。桁数は任意。
EAN128	Code128のうち、UCC/EAN128規格に適合するもの。
CUSTOMER	郵便カスタマバーコード。
DATAMATRIX	DataMatrixコード(2次元) ECC2000のみサポート
PDF417	PDF417コード(2次元)
MAXICODE	MaxiCodeコード(2次元)
CONVENI_BAR	コンビニバーコード
RSS	RSSバーコード。
MEDICALMATERIAL	医療資材商品バーコード
EAN. UCC_COMPOSITE	EAN. UCC合成シンボル。RSS合成シンボルのみサポート

I. 商品導入の背景、狙い

[特長1]

バーコードを利用した運用をおこなうためにバーコードを合成します。バーコードは 誤認識率が低いことが特長でバーコードを合成することによって精度の高い情報を 付加できます。

[特長2]

スキャナから取り込むデータに新たな情報としてテキスト(社名,名前, "複写禁止", "重要"など)、 ビットマップ(ロゴ,印鑑,その他スタンプなど)の貼り付けをおこない、さまざまな用途で 活用します。

[特長3]

データの変換機能(フォーマット変換,スケーリング,ノイズ除去,色調整,クリッピング, 2UP/4UP,新規ページの追加,定型サイズへの統一,回転など)を使用することにより、 ユーザーの目的・要求に応じたイメージデータを作成します。

[特長4]

出力ファイルをZIPE縮することが可能です。読み込んだデータをZIPE縮とパスワード設定を して出力できます。

[その他の特長]

- ・内容の異なる合成要素(バーコード,テキスト,イメージ)を最大100個まで同時に合成できます。 ・バーコード,テキスト,イメージの合成時に各種設定を行うことができます。
- 貼り付け位置, バーコードのサイズ(精度)調整, 各バーコードの固有機能の利用, 上書き/透過, 貼り付けページ指定, 透明度の設定, 色設定, 方向(0, 90, 180, 270度)など)
- ・出力フォーマットはTIFF(G4, PackBits, LZW, deflate, JPEG, 非圧縮)、JPEG、BMP、PNG、PDFに 対応しています。
- カラーモード(カラー/モノクロ/グレースケール)はPaperStream IP(TWAIN) ドライバ、
- fiシリーズ TWAIN準拠デバイスドライバの設定に依存します。
- ・設定した情報をセーブ/ロードすることができます。

[合成するバーコードについて]

・バーコードの認識率アップ手法について
 「KDbarout_fi」で作成したイメージにあるバーコードがバーコード読み込み機器で
 認識されない場合、以下の項目を調整してデータの品質を上げてください。
 ①生成するデータの品質を向上させる。(解像度を上げる)
 ②バーコード生成時にバーコードのサイズ(幅・高さ、最小バー・セル幅)を大きくする。
 ③ノイズ除去機能(ディザノイズ除去、1ピクセル以上のノイズ除去)を指定する。

Ⅱ. 搭載機能について

1. バーコード合成機能 指定されたテキスト情報を任意位置にバーコードイメージ化して合成します。



 テキスト合成機能 指定されたテキスト情報を任意位置にイメージ化して合成します。



3. イメージ合成機能

指定された任意のイメージファイルを入力(変換元)ファイルに合成します。イメージファイルを 「はんこ」「ロゴマーク」などにすれば「はんこ」「ロゴマーク」の貼り付けに利用できます。



4. クリッピング機能

上下左右で指定された量だけクリッピングを行う、 指定された量だけ残して余白をカットすることができます。



5. 2UP/4UP機能

マルチページのイメージを「2UP合成」または「4UP合成」して出力します。



6. ファイル分割機能

入力(変換元)データを任意の用紙サイズに分割して出力します。



[メインダイアログ]

プログラムを起動すると下記ダイアログが表示されます。スキャナが利用可能な状態で ボタンをクリックするとスキャナにセットされた用紙を取り込み設定内容に 沿った処理が行われ指定のフォルダに取り込んだデータのイメージファイルが作成されます。



- (1)スキャナが利用可能な状態で=ボタンをクリックするとスキャナにセットされた用紙の 取り込みを開始し設定内容に従って処理を開始します。
- (2) / ボタンを押すとバーコードの合成に関する設定を行うダイアログが起動します。 ※後述に詳細を説明
- (3) 場ボタンを押すと設定情報のセーブ/ロードを行うダイアログが起動します。
 既にセーブ情報がある場合、隣にある現在の設定 → コンボボックスから
 ロードを行うことが可能です。
- (4)ビュー機能を利用する場合、ビューエリアに読み取った画像が表示されます。

[設定ダイアログ]

メインダイアログの パボタンをクリックすると下記の設定ダイアログが表示されます。 バーコードの合成設定、出力するデータ等の設定をダイアログ上より行い処理に反映します。

環境設定 (5) (6) (7 8	×
基本設定 合成設定 加工・出力設定 画像	● 」 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
① りファイル名		
出力フォルダ名:		
C:¥KernelComputerSystem¥KDbarout_f	参照	
出力ファイル名: (拡張子は除く, ### :)) - אַלילו	
image####		
	шллл-үүр-	
ページ単位のカウンター:	סא−マット: TIFF	
0 (0~65535)	TIFF圧縮形式: G4(MMR) ▼	
□ カウンターを初期化する	PDF/(ージョン: 1.3 ▼	
ファイル単位のカウンター:	JPEG圧縮品質: 75	
1 (0~65535)	/	
□ カウンターを初期化する	□ 指定したページ数ごとに区切る: 1 🕂	
読み取りページ (2)	,	
▶ 全て読み取る:	□ 履歴ファイルを出力する	
ページ数指定: 1	設置ファイルロフフォルショ: C:¥KernelComputerSvstem¥KDbarout fi 参照	
□ ビュー機能を利用する	□	
☑ ログを表示する	logfile.log	
スキャナ設定	1	
2117 B22C		
	(9)	
王 (1/)知道に大 9 (1)	UN +17/2	N

- (1)出力先のフォルダとファイル名を指定します。
- (2)スキャナにセットされた用紙を全て読み取る、または指定したページ数だけ読み取るかの設定を 行います。
- (3)スキャナドライバの設定・選択を行います。 スキャナからの取り込みに関する設定や、ご使用されるスキャナドライバを選択してください。
- (4) 出力ファイルのフォーマット指定を行います。
- (5) バーコードの合成に関する設定を行うダイアログを表示します。合成するバーコードの 種類、合成位置、合成内容等の設定を行います。
- (6)イメージの加工・出力に関する設定を行うダイアログを表示します。クリッピングや 2UP/4UP合成、塗りつぶし等の設定を行います。

- (7)イメージの出力結果に関する設定を行うダイアログを表示します。拡大・縮小や回転、 ノイズ除去等の設定を行います。
- (8)イメージの分割に関する設定を行うダイアログを表示します。
- (9)「OK」ボタンをクリックすると情報を保存してメインダイアログに戻ります。「キャンセル」ボタンをクリックすると情報を保存せずメインダイアログにもどります。

[合成設定ダイアログ] バーコードやテキストの合成を行うための設定を行います。

環境設定	,	×
基本設定 合成設定 加工·出力設定 合成改存 一覧	画像設 2 酸定 種別: バーコード合成 ▼ バーコードの種類: CODE39 ▼	1
バーコード合成	合成情報: バーコード合成	
	イメージファイルの指定: ファイル名 参照	
	へ座傳: 0.0 歴中世世: 位工 ● 色を指定する:	
	Y座標: 0.0 原点: 左上 ▼	
	- 合成ページ	
	● 全ページ	
	C ページ指定: 1	
	C 繰り返し間隔: 1 開始ページ: 1	
	テキストオプション:	
	┌ フォントの選択 ────	
	© Windowsフォント: MS ゴシック ▼	
	C kosvsfnt: 線幅: 0.1	
	文字サイズ: 5.0	
	Windowsフォントオプション	
追加 コピー		
	首成方法: 」 透過	
全て初期値に戻す(I)	OK キャンセル	

(1) 設定されている合成内容一覧が表示されます。

- (2)合成する種別(テキスト・バーコード等)を選択します。
- (3)合成するバーコードの種類を選択します。
- (4)合成する内容を指定します。バーコードを合成する場合、一部のバーコードでは無視されます。 また、ファイル名を合成する場合にも無視されます。
- (5)合成するバーコードの詳細な設定を行います。(バーコードの幅、高さ等)





Ⅴ. その他

[動作環境について]

- >「KDbarout_fi」を利用するにあたりRICOH fiシリーズが必要になります。
 - Scanner Control SDK V2.3L50、あるいはV2.3L12に対応している必要があります。
 - ・PaperStream IP(TWAIN) ドライバ、あるいはfiシリーズ TWAIN準拠デバイスドライバが インストールされている必要があります。

対応0S

- ・Microsoft Windows 7 (日本語版)が動作する環境
- ・Microsoft Windows 10 (日本語版)が動作する環境
- ・Microsoft Windows 11 (日本語版)が動作する環境
- ・Microsoft Windows Server 2008 (日本語版)が動作する環境
- ・Microsoft Windows Server 2016 (日本語版)が動作する環境
- ・Microsoft Windows Server 2019 (日本語版)が動作する環境
- ・Microsoft Windows Server 2022 (日本語版)が動作する環境

[価格]

◇ 製品名:KDbarout_fi

- バーコード合成プログラム
- ・販売価格:¥150,000(税別) / 1ライセンス